

質問 60代の女性です。夫が肺がんで医師に抗がん剤治療を提案されていますが、副作用が心配です。副作用のことは誰に相談したらいいですか。

抗がん剤の副作用



坂本 充司
 県立中央病院
 がん薬物療法
 認定薬剤師

回答 抗がん剤の副作用かもしれない症状が出た場合には、医師だけでなく薬剤師や看護師にも相談できます。県内のがん治療を行っている施設では、がん領域を専門とする薬剤師や看護師が在籍していることは珍しくありません。

現在、臨床では多くの種類の抗がん剤が使用されており、それらは大きく四つに分類することができます。一つ目は古くから使用されている細胞障害性薬であり、多くの人が想像する抗がん剤と言えば、これかもしれません。二つ目はホルモン剤、三つ目は分子標的薬、四つ目は免疫チェックポイント阻害薬です。

抗がん剤の副作用と言

えは吐き気、脱毛、口内炎、そして血球減少などを想像しがちですが、分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬の登場により、それらとは異なる種類の副作用が報告されるようになりました。



薬剤師や看護師に相談を

がん何でもクイズ

県内の市町村が実施する子宮頸がん検診は、満20歳の女性はいくらで受診できますか。

①無料②3000円③6000円

行こうよ！がん検診

ことが重要です。

例として県立中央病院の取り組みを紹介しましょう。同病院では、外来で抗がん剤治療をしている患者を対象に、医師の診察直前（薬剤師外来）を行っています。薬剤師外来では副作用の発現状況を薬剤師が聞き取り、医師と情報共有することにも、何か問題となる症状があれば、その対応策を医師に提案しています。

最近では病院薬剤師と調剤薬局の薬剤師の間で抗がん剤治療をしている患者の副作用情報等を共有し、患者を支援する動きもあり、かかりつけ薬局の薬剤師に相談するのもしもかもしれません。

がん治療を行う施設では、専門性を持ったさまざまな職種（医療スタッフ）がいます。副作用をうまく付き合いつつながら治療を続けるために、遠慮なく相談してください。

がんに関する質問は
 徳島がん対策センター
 電話 088 (634) 6442
 (平日午前8時半から午後5時まで)へ。

